

洛北高校 SSH 研究室体験研修「木材から紐解く樹木の進化と生存戦略」の実施

平成 29 年度スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の活動として、7~8月の3日間(7/26、7/31、8/4)、京都府立洛北高等学校の生徒4名が生物材料物性学研究室を訪問し、「木材から紐解く樹木の進化と生存戦略」をテーマに研究室体験研修を行いました。

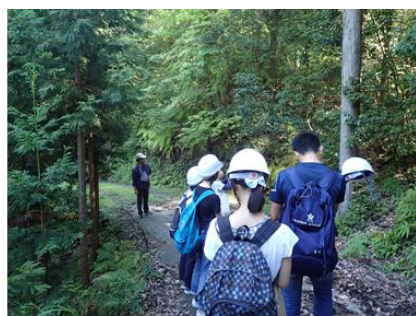
昨年に引き続き SSH の一環として、研究をどのように行っていくのか、実際に体験してもらいました。1日目は講義やディスカッションに加えて、鷹ヶ峯演習林で竹の伐採や森林を見学してもらうとともに、スギやヒノキを中心に家具を作る工房を見学しました。2日目は木材を使った曲げ試験などの基本的な実験を行い、木材のもつ構造や特性について考えました。3日目は実験データをもとに考察を行った後、大学に隣接した植物園を訪問し、生き物としての樹木に触れて考えを深めました。最後には3日間を通して感じたことなどについてそれぞれ発表し、体験研修を終えました。



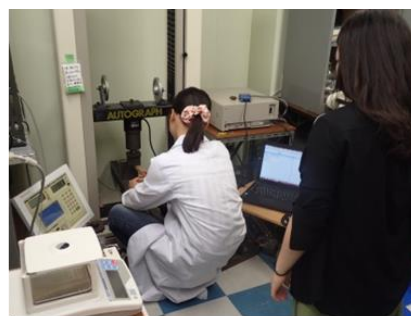
鷹ヶ峯演習林でのタケの伐採



家具工房の見学



鷹ヶ峯演習林での森林の見学



生物材料物性学研究室での実験①



生物材料物性学研究室での実験②



ディスカッションおよび発表